

報告日 令和7年8月22日					
報告回次 2日目					
令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書					
地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。					
記					
1. 申請団体情報					
1-1. 申請団体					
団体名	和泉市			代表者名	市長 辻 宏康
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	市長公室政策企画室	連絡先電話番号	0725-99-8114
担当者役職	主事	担当者氏名	倉本 末樹	連絡先E-mail	
住所	594-8501 大阪府和泉市府中町二丁目7番5号				
1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）					
団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	
1-3. 支援を求める内容					
支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	市民・職員視点のDX推進		
概要	DX推進のための機運醸成を目的とし、経営者層（部長級・CIO）をはじめ、各課課長級の管理職及び庁内各課から選出された「DX推進員」、福祉部局の職員に対して研修を実施していただきたい。				
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 医療・介護・健康 行政手続オンライン化				
2. 地域情報化アドバイザー派遣実績					
2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年8月19日	支援・助言&講演(実地)	9時15分	17時30分	60
			活動時間（分）	435	
2-2.	会場名	和泉市役所		最寄駅	JR阪和線 和泉府中駅
派遣場所	所在地	大阪府和泉市府中町二丁目7番5号		最寄駅からの交通手段	徒歩
3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望					
支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。					
アドバイザー	宮崎 昌美				
評価	大変良い				
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	アドバイザー自信の自治体職員としての経験や、これまでのアドバイザー業務の経験をもとに、分かりやすい言葉で講義をしていただき、DXに関してイメージがしやすく、大変有意義な講義だった。 DXは楽をするために実施するものであり、楽をするというのは、決してサボるという意味ではなく、これからの職員数減少に備え、デジタルでできる部分はデジタルを使って「変革」することであり、その変革により、楽になるという流れで分かりやすかった。 また、あるべき姿（ムーンショット）を見据え、そこに向かうためには何をすべきかというバックキャストिंगの考え方も非常に重要であることが理解できた。 また、午後のグループワークにおいては、具体的な助言を得ながら、グループにて活発な検討を行うことができ、自身の業務を踏まえた業務のあり方やデジタルツールを活用した効率化などを認識することができた。				
アドバイザーへの要望事項	無				
4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果					
4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	25人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	20	0	5	0
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果					
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	今後の人口減少に伴い、職員数の減少も避けられない中、いかに業務を効率的に行うかを本格的に検討する必要があるが、現時点では、主に福祉部局を中心に日常業務に追われ、時間外業務等も多く発生しており、業務の見直し（BPR）を行うことができていないことが課題である。				
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	今回のアドバイザー派遣により、庁内のDX推進の機運醸成を行い、DX推進・業務効率化・BPR/DXの重要性を認識してもらうことで、職員にしかできないコア業務に注力できるように業務の見直し、DXを進める。 また、それを庁内で強固に推進する体制を整備する。				

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	福祉関係部署職員に向けたDX研修を実施していただいた。 人口減少や気候変動といった避けられない課題があり、変革が求められている自治体の現状を説明していただいたうえで、DXを進めることの意義や重要性、必要性について、分かりやすい構成・言葉で講義していただいた。DXが目指すところが「Well-being」(肉体的にも、精神的にも、社会的にも、全てが満たされた状態)であることが理解できた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	DXに関する研修により、DXが目指すところが理解でき、職員のDX推進に関する機運醸成を行うことができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他 職員のDX推進に関する機運醸成を行うことができた点、及びグループワークを通じて参加職員が感じる業務のあり方やデジタルツールを活用した事務効率化のイメージを吸い上げることができた。 また、来年度調達を検討している地域ポイント活用においても活用の具体的アイデアをまとめることができた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	充実した研修内容であったと感じ、より多くの職員の受講ができればよかったと考えます。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 参加した職員の8割以上が満足できる内容という結果だった。 なかでも、「DXは難しくないものだ」と理解できた、「DXは個人ではなく、組織で取り組む必要があるものだ」と理解した」という意見が印象的だった。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する ・人事課と調整のうえデジタル人材育成・DX研修を実施中。 ・今年度中に福祉業務分野におけるDX/BPR計画を策定し、来年度から実装していくことで進めている。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	全職員にDXを進めることの意義や重要性、必要性を理解してもらい、「Well-being」な状態になることを目指し、最終的には住民にとって「市役所に行かなくて良い」、行ったとしても「待たなくて良い」市役所を目指す。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
掲載許可	☐ 掲載可	
なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください		
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

